

## 第 1 回「原子力の業務運営に係る点検・助言委員会」での御意見等を踏まえた対応

第 1 回委員会 意見等 (公開した議事概要)	対応		備考
	第 2 回	第 3 回 以降	
<p>「コミュニケーション」の定義を踏まえた対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション活動を行うには、会社の考えを説明して理解を得ることだけでなく、相手の気持ちを聴くことが重要。「双方向のやり取り」としてのコミュニケーション活動について、取組みを整理して説明して欲しい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの概念を整理したうえで、当社のコミュニケーション活動について説明</li> </ul>
<p>安全・安心に向けた社会とのコミュニケーション(「多重防護」等の再整理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「五重の壁」「多重防護」は、従来は一応 安全 という印象があったが、現在は、その言葉自体の信頼性がなくなっている。原子炉だけでなく電源部分など、発電所全体の安全対策が二重三重に行われている等の説明が必要になってきているのではないかと。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の安全対策の取組み状況を第 2 回委員会で説明</li> <li>を含めた対策は、第 3 回以降で説明予定</li> </ul>
<p>安全・安心に向けた社会とのコミュニケーション(命を守る観点からの説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設備面の安全対策だけでなく、万一のときに、住民や発電所作業員の命を守る対応まで示さないと、安心獲得につながらないのではないかと。</li> <li>命を守るという観点で、周辺住民の避難対応や発電所の作業員の安全面の対応等について、説明して欲しい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>H25.3 国に届出予定の原子力事業者防災業務計画の概要等を第 2 回委員会で説明(具体的内容は第 3 回以降で説明予定)</li> </ul>
<p>緊急時の対応体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮に放射性物質の放出があった場合の緊急対応体制や、安全を最優先した判断を行うための基本方針や判断基準などについて、危機管理のあり方と併せて説明して欲しい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>原子力規制委員会の新安全基準を踏まえた対応について、第 3 回以降で説明予定</li> </ul>
<p>協力会社との良好な関係の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協力会社との良好な関係など、九州電力の良い部分は継続して欲しい。また、九電社員のみならず協力会社の人も含め、マイプラント意識を持った教育が大事である。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見として承り、今後の対応で考慮</li> <li>原子力発電所視察の中でも説明</li> </ul>
<p>PWRとBWRの比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PWRとBWRの仕組みは、一長一短があるため、一概に型式だけでどちらかが安全ということは言えない。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見として承り、今後の対応で考慮</li> </ul>

第1回委員会 意見等 (公開した議事概要)	対応		備考
	第2回	第3回 以降	
<p>保安活動のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他電力等の事故を踏まえて『保安規定』改定等を行っているが、更なる安全・安心のためには、事業者としていかに先取りして対策するかが重要ではないか。</li> <li>保安活動の中で、安全文化醸成活動、品質保証活動、コンプライアンス活動が行われているが、これらを実現する文化や取組みの根本は同じであり、各活動間の調整が必要ではないか。また、活動が増えると形骸化も懸念される。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、第2回委員会で説明</li> </ul>
<p>訓練のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訓練について、気象条件等が悪い中や同時発生的な事故など、多様な条件で実施し、問題点を洗い出すことも必要ではないか。ヒューマンファクター面は非常に重要であるので、次回以降、訓練・教育について詳しく説明して欲しい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、第2回委員会で説明</li> </ul>
<p>福島事故を踏まえた事業者の独自対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福島事故で明らかになった事故への対策に加え、プラスアルファとして、事業主体である九州電力としてどのような方針で対策しようとしているのか示して欲しい。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>当社の安全性向上の取組み体制を第2回委員会で説明</li> <li>第3回以降で具体的内容を説明予定</li> </ul>
<p>協力会社へのガバナンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンプライアンスについて取り上げる際に、九州電力と協力会社・子会社との関係についても説明して欲しい。(親会社の「コンプライアンス方針」を反映するガバナンス体制や内部統制システムの枠組み等)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、第2回委員会で説明</li> </ul>

以上